

ほけんだより

令和6年度 6月号

半袖で過ごせる日中は汗をかくほど暑い日もあります。これからの季節は汗や汚れで着替えをする回数が増えます。汚れ物を持ち帰った翌日は着替えの補充を忘れずにしてください。夏本番になると水遊びが始まります。肌トラブルによっては水遊びが出来ない場合がありますので今からスキンケアを行って備えるようにしましょう。



〜〜 4・5月の感染症情報 〜

4月：突発性発疹	1名	(あかちゃん組)
アデノウィルス	2名	(あかちゃん組)
RSウィルス	2名	(あかちゃん組)
インフルエンザB型	2名	(あかちゃん組 1名 ペんぎん組 1名)
とびひ	2名	(らっこ組 1名 くじら組 1名)
新型コロナウイルス	1名	(くじら組)
溶連菌感染症	26名	(ぺんぎん組 4名 らっこ組 8名 いるか組 8名 くじら組 6名)
5月：ウィルス性胃腸炎(ノロ)	2名	(あかちゃん組 1名 ペんぎん組 1名)
アデノウィルス	1名	(あかちゃん組)
RSウィルス	1名	(あかちゃん組)
とびひ	1名	(ぺんぎん組)
溶連菌感染症	8名	(ぺんぎん組 2名 らっこ組 2名 いるか組 1名 くじら組 3名)

*繰り返す嘔吐や下痢(胃腸炎)でお休みや早退する園児が5月は多く見られました。また、一度治まったように見えてからぶり返したり、回復までに時間を要する場合も多かったように思います。

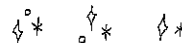
溶連菌感染症とは？

急な発熱と同時にのどが痛み、翌日あたりから首・胸・足首などに赤い発疹が出て全身に広がります。嘔吐や腹痛といった症状が出る場合もあります。ウィルスではなく『菌』なので抗生物質が効きます。

感染力が強い菌です。家庭内でも感染が広がる恐れがあるので帰宅後も手洗いを忘れずに行ないましょう。再発や二次感染予防に受診は必ずしましょう。



熱中症にご用心



身体が暑さに慣れていないこの時期こそ、熱中症を起こす危険性が高いのです。日中の予想気温に合わせて調節しやすい服装での登園をお願いいたします。



短時間でも車内や室内に乳幼児を一人で残す事は絶対にやめましょう



これからの季節は特にご注意を！夏に多い皮膚トラブル！！

暑い夏は昆虫・細菌・ウイルスなど生き物も活発になる季節です。子ども達の柔らかく、薄い肌はターゲットになりやすく、代謝も良いため汗もよくかきます。水遊びシーズン前にもう一度 お子さんの肌の状態を確認してみてください。

皮膚トラブルは、『感染対策』と『痒み対策』が大切です。皮膚はもともと感染に対する防護機能があります。しかし、この機能は湿疹や傷、乾燥などでつい掻いてしまうことで壊れやすく、細菌やウイルスを侵入させてしまいます。痒みは温まると強くなり、冷やすと和らぎます。

皮膚トラブルを抑えるために「爪は短く切って清潔にする」「汗をかいたらきれいに拭く」「衣類は通気性・吸水性の良いものにして、こまめに着替える」など常に清潔でいられるようにいつも以上に気をつけてみて下さい。

また、皮膚の乾燥は肌の防護機能を低下させます。お子さんの身体を洗う時はナイロンタオル等でゴシゴシ擦らず、お母様達が洗顔する時のようにしっかり泡立てた泡でなでるように優しく洗うのが望ましいです。市販のボディソープは子どもの肌油分を過剰に流してしまうため、ベビー石鹸や敏感肌用石鹸を使ってみましょう。乾燥肌のお子さんは夏こそ保湿を意識したスキンケアをしっかりと行いましょう。

これから暑い日には水遊びを行います。とびひや水イボなどの感染性疾患があったり、発疹や傷などで皮膚がジクジクしている時は水遊びが出来ません。今から気を付けていきしょう。

望ましい熱の測り方で測定していますか？

毎日測っている体温ですが望ましい状態か再確認してみましょう。

(あてる位置)

わきの下、中心部分

(あて方)

下から押し上げる

(はさみ方)

隙間ができないように脇をしっかりと締めましょう



上から差し込むと、わきの中心にあたらない

横から差し込むと、先端がでてしまう



- 体温計の表示部分を内側に向けましょう。
- はさんだほうの手のひらを上に向け、もう一方の手で肘を脇腹に押さえつけるようにして、わきと体温計を密着させましょう。
- 計測中に体温計が動いたり、当てている位置がずれないように静かに待ちましょう。

毎日行っていることなので自分で測ることができるお子さんもいらっ

しゃいますが、子どもに任せず大人が確認することを心がけて下さい。